



中国威海市研修生2名が当協会ボランティアと原爆ドーム、広島平和記念資料館を見学し、原爆や戦争の悲惨さを学び、全ての人々が平和な世界に住めることの重要性を理解するとともに交流を図りました。

中国威海市研修生2名が新テーマ研修を受講、 5年間で合計11名を受入れ

●JICA草の根技術協力事業威海市個別研修「環境保全パートナーシップコース」●

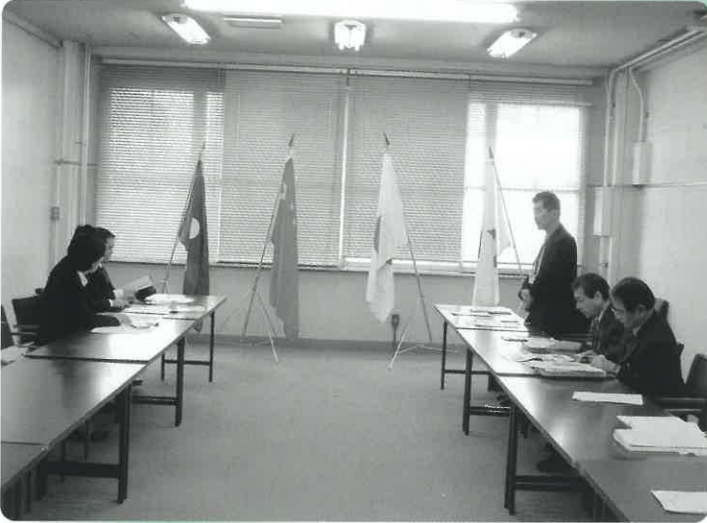
宇部市の友好都市である中国威海市から、昨年に引続きJICA研修生2名が平成19年3月4日から3月27日まで宇部市を中心に行政、企業、大学において「環境保全パートナーシップコース」について研修を受けました。この度の研修は、「宇部方式」を威海市の環境行政官、企業の代表者、学識者に伝え、同市の環境問題の解決や、「宇部方式」による環境改善システムの定着を図ることを目的とした、3ヶ年計画の第2年度研修です。本年度は企業代表者と環境行政官が研修に来宇しました。「宇部方式」による環境改善システムを威海市に伝えることは、威海市のみでなく、中国の環境問題の解決にも役立つものと期待されております。また休日を利用してホームステイ、山口県内観光地の探訪、広島平和記念資料館及び宮島の見学等の日本文化・歴史体験を通じ交流ボランティアをはじめ市民との交流も活発に行われました。

威海市研修生の来宇も5年目を迎え、合計11名となりました。

《環境保全パートナーシップコース》

研修実施主体	宇部市、宇部環境国際協力協会
期間	平成19年3月4日～3月27日（24日間）
研修生	張 亮（威海市環境保護科学技術サービス公社 副社長） 楊 文（威海市環境保護観測所 副所長）
研修先	山口日本電気（株）、宇部興産（株）、（株）イーユービー、 （株）パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス、 山口大学工学部、東京都足立区、東京臨海リサイクルパワー（株）、 宇部地区環境保全協議会、山口県、宇部市

開講式



開講式



市長表敬訪問



常盤公園では白鳥がお出迎え

研修風景

山口県宇部健康福祉センターで環境法令と山口県の環境政策を習得



(株)PETで火力発電所の環境対策を習得



中国電力(株)新小野田火力発電所で廃水処理設備、脱硫、脱硝、コットレル等の排ガス処理設備を見学



宇部興産(株)宇部セメント工場でセメントキルンによる資源リサイクル設備を見学



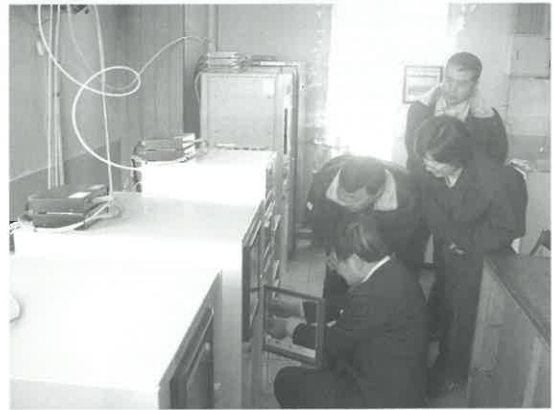
(株)イーユーピーで廃プラスチックの再資源化設備を見学しました。



宇部市リサイクルプラザで宇部市の廃棄物リサイクル対策を習得しました。



宇部市の環境保全対策を習得しました。



宇部市の公害監視装置を見学しました。



山口大学で「環境保全の課題と大学における宇部方式」を受講しました。



東京臨海リサイクルパワー(株)では医療廃棄物の処理工場を見学しました。



東京都足立区で「あたちエコネット事業」を視察しました。

交流



交流ボランティアと豊北風力発電所を見学しました。

交流ボランティアと
山口市瑠璃光寺を探訪しました。



交流ボランティアと明治維新の地、萩を散策しました。



交流ボランティアときららドームを視察しました。



交流ボランティアと
宮島の夕日を觀賞しました。

送別会

張さん楊さんを囲んで記念撮影しました。



張さんは「緑島夜曲」を
熱唱しました。

閉講式

約3週間の研修を終え、JICA中国
ム長から修了証が授与されました
辻野業務第二子



研修生の受け入れ

国際集団研修

第2回「大気汚染源モニタリング管理」コース



研修主体 ● KITA((財)北九州国際技術協力協会)

期 間 ● 平成18年10月3日(1日間)

研 修 生 ● インドネシア、フィリピン、マレーシア
政府環境管理者8名

研修視察先 ● 宇部興産(株)、宇部市

環境国際セミナーの開催

第1回

環境国際セミナー

(平成18年度総会総会後)

◇平成18年6月21日(水) ◇宇部市文化会館

共催：宇部市

演題：「アジア諸国のニーズと
国際環境協力について」

講師：グローバルシステムジャパン代表
大迫 勝博 氏



第2回 環境国際セミナー

◇平成19年2月13日(火) ◇宇部市文化会館

共催：宇部市、JACA中国

演題1：「青年海外協力隊活動から見た
セネガルの環境」

講師：JICA国際協力推進員
鈴木 博子 氏

演題2：「開発途上国における環境問題の
現状および取組み」

講師：JICA国際協力総合研修所 客員専門員
山田 良春 氏



環境保全技術構座

第1回

◇平成18年11月29日(水)

◇宇部市文化会館

◇共催：宇部市

基調講演 演題：「光触媒技術による環境保全への挑戦」

講師：大阪府立大学 大学院工学研究科
物質・化学系専攻応用化学分野教授
安保 正一 氏

事例紹介1 演題：「光触媒繊維モジュール

《アクアソリューション》による水浄化システム」

講師：宇部興産(株) 宇部研究所 無機機能材料部
光触媒チーム チームリーダー 宮本 一夫 氏

事例紹介2 演題：「光触媒の原理・実用化技術と応用商品」

講師：東陶機器(株) 総合研究所 基礎研究部 研究主幹
下吹越 光秀 氏



第2回

◇平成18年12月12日(火)

◇宇部市文化会館

◇共催:宇部市

事例紹介1 演題:「容器リサイクル法関係の
プラスチックリサイクルの
現状と研究例」

講師: 広島大学 大学院工学研究科
物質化学システム専攻 助手
奥田 哲士 氏

事例紹介2 「医療系廃棄物の適正処理について」

講師: (株)宇部スチール 製鋼事業部
リサイクル課 課長
折崎 聡 氏



第3回

◇平成19年1月23日(火)

◇宇部市文化会館

◇共催:宇部市

基調講演 演題:「グリーンケミストリー
-----環境にやさしい化学-----」

講師: 神戸大学理学部化学科 有機化学講座 教授
林 昌彦 氏

基調講演 演題:「環境にやさしい化学の実用化に向けて
-----マリン系香料ヘリオフレッシュの
開発を中心に-----」

講師: 宇部興産(株) 宇部研究所 合成化学部門長
杉瀬 良二 氏



市内企業の環境対策設備見学会(留学生対象)

山口大学、宇部フロンティア大学在籍の留学生12名が、2007年2月24日に宇部市リサイクルプラザ、宇部市環境保全センター及び(株)イーユーピーの廃プラスチックガス化プラントを見学しました。



ネットワーク・広報活動

山口県、(財)山口県ひとつづくり財団主催「環境学習フォーラム」(2006年9月9日)においてパネル展示をし、参加者に当協会の活動を紹介しました。



宇部まつり(2006年11月5日)においてパネル展示をし、参加者に当協会の環境国際協力活動をアピールしました。



(財)山口県国際交流協会主催「多文化共生フェスタ」(2007年1月28日)においてパネル展示をし、参加者に当協会の活動を紹介しました。

「宇部の環境技術2007」韓国語版

平成19年3月発行

市内企業が持つ環境技術をまとめた「宇部の環境技術2007」韓国語版を刊行しました。平成18年に発刊した日本語版を翻訳したものです。市内企業の事業の概要、専門領域、主要施設、主な会社資格、主な有資格者、主要事業、エコビジネス、製品、海外への技術供与実績等を紹介しております。ご希望の方は事務局にお申し出ください。



平成18年度総会



6月21日(水)に開催し、前年度事業報告、
新年度事業計画が審議、承認されました。

国際交流ボランティアの活動



威海市研修では休日に研修生と当協会交流ボラ
ンティアとが山口、広島県内各所を探訪し、日本
文化、歴史を理解するとともに交流しました。送
別会ではこれら交流ボランティア19名が出席
し、別れを惜しまました。

ボランティアのお願い



国際交流および技術支援のボランティア
を募集しております。皆様方の事情に合った
ボランティアを積極的に行っていただけませ
んでしょうか。

〈国際交流ボランティア〉

今後、海外から多数の研修生が、宇部市を
訪れると思われます。外国語(英語、スペイ
ン語、中国語等)の会話が可能な方で、休日
のホームステイ、市内外の案内等をしてい
ただきます。

〈技術支援ボランティア〉

環境技術をお持ちの方で、海外研修生の受
け入れのための研修コースの策定、研修生の
受け入れ、途上国環境対策調査等をしてい
ただきます。

★お申込みは宇部IECA事務所までご連絡下さい★

会/員/募/集

現在の会員数

- 個人 350人
- 法人団体 80団体

宇部IECAは会員の皆様の会費により運営さ
れております。

会費は次のとおりです。

- ★個人会員 1口 1,000円(年額)
- ★法人団体 1口 10,000円(年額)
- ★何口でも可

宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところにあります。
「会員になって一緒に国際交流を行ってみませんか」と知人等へのお誘
いをお願いします。

発行 宇部IECA
事務所

宇部環境国際協力協会

〒755-0045

山口県宇部市中央町1丁目10番32号
エビスビル3階

TEL・FAX (0836) 36-3199

Eメール info@ieca.biz

URL http://www.ieca.biz